

● 日本の主な火山活動

桜島では、爆発的噴火が発生するなど活発な噴火活動が継続した。火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続しており、昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。

西之島では、海上保安庁等の観測によると、噴火と溶岩の流出など活発な噴火活動が継続した。火口周辺警報（火口周辺危険）が継続しており、今後も噴火が続くおそれがあるため、西之島付近では噴火に警戒が必要である。

霧島山（新燃岳）では、GNSS 観測によると、新燃岳の北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2011 年 12 月以降鈍化・停滞していたが、2013 年 12 月頃から伸びの傾向がみられる。また、新燃岳に隣接する大浪池及び韓国岳付近を震源とする地震が時々発生した。火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）が継続しており、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

諏訪之瀬島では、29 日に爆発的噴火が 2 回発生するなどやや活発な噴火活動が継続した。火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）が継続しており、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

草津白根山では、3 月上旬から湯釜付近を震源とする火山性地震が時々増加する状況が続いている。噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）が継続しており、引き続き山頂火口から概ね 500m の範囲では、火山灰の噴出等に警戒が必要である。

**表 1 4 月 30 日現在の火山現象に関する特別警報・警報・予報等の発表状況
（※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中）**

特別警報・ 警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	桜島
	レベル 2（火口周辺規制）	三宅島、霧島山（新燃岳）、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	西之島※、硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル 1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、浅間山、新潟焼山、焼岳、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島、口永良部島
	平常	上記以外の活火山

*噴火警戒レベルは、その活用が地域防災計画等で予め定められており、レベル毎の防災対応がキーワードで示されている。



図 1 4 月 30 日現在、火山現象に関する特別警報、警報及び火山現象に関する海上警報発表中の火山

表 2 平成 26 年 4 月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報		概要
		種類、号数等	発表日時	
倶多楽	噴火予報（平常）	火山活動解説資料	2 日 15 時 00 分	4 月 1 日 13 時頃から、大湯沼の南東岸で硫黄が燃焼。
草津白根山	噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）	火山活動解説資料	24 日 17 時 00 分	4 月 24 日 12 時頃から湯釜付近を震源とする火山性地震が増加。
西之島	火口周辺警報（火口周辺危険）	火山活動解説資料	18 日 16 時 05 分	4 月 18 日 13 時頃から気象衛星で確認できる噴火が発生し、海拔約 2,000m の高さの噴煙を観測。
桜島	火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）	解説情報第 27～34 号	4 日、7 日、11 日、14 日、18 日、21 日、25 日、28 日 16 時 00 分	噴煙、地震回数等火山活動の状況。

注) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。
 三宅島においては毎日 07 時と 17 時に火山ガス予報を発表している。